

明るい世界を

太田市立沢野小学校

6年

恩田

苺凜

「また、また、」

毎朝テレビをつける、犯罪をした人のニュース

「スバッカリ。たくさんの人が苦しんで、」

ている。なのに、反省する素ぶりを見せない。

こんな世界をゆるしていいのか。明るい未来

を目指さなくていいのか。頭を混乱させる。

犯罪をした人は、何も考えていない。だから

犯罪をしてしまう。でも、犯罪をしてしま

うのには、何か原因がある。でも、その原因

がわからない。私は思う。犯罪をしてしまう

のは、不満や、その人に対する恨みから来る

ということだ。不満がたまっていたら、最

終的には、爆発する。だから、犯罪をしてし

まう。でも、感情が爆発してしまうのは、し

うかない。だって、人間だから。いくら人間

でも、不満をがまんすることはできない。た

た、不満をためないことが大事だと思う。

そうすると、日々の生活をリラックスして、

過ごさなければいけない。でも、そう簡単に
はいかない。そうなら、ストレスを発散
して、自分を見つめ直せば、自分も、周りも
気持ち良く過ごせる。でも、そのストレス発
散の仕方を間ちがえている人もいる。例えば、
万引き、殺人、あるいは運転など。全ての事に
共通していることは、人にめいわくをかけて
いるという点だ。万引きでは、お店がこま
たり、買い物するみんながこまたりと、た
くさんの人にめいわくがかかる。さらに、殺
人では、その人の家族や、友達も悲しむ。あ
おり運転では、もし、車をぶつけられれば、
何も悪くない人も、悪くなってしまう。少し
の間ちがえが、その人の人生を変えてしま
う。そうなら、てかたはおそろいかな、日々
の生活を見直すのが大切だと、私は思う。人
間は、必ず一回は、かたにぶつかり、てしま
うことがある。あるけど、それを乗りこえる
ことができたなら、自分の事をほめて、明
るく過ごすことが、できるように、かんば
れば、このようにな、犯

罪は、無くなるかも知れない。だから、自分の事は、自分でコントロールすれば、周りにめいわくをかけないようになる。

私は、改めて、犯罪のこわさをこの文章を通して知る事ができた。犯罪は、不満や、人関係なことを通して起こる事なので、不満や、ストレスは、ためこまないで、発散する事を大事にして、発散するところもよく考えて、だれもが、しあわせに暮らせるような未来を、私は、望んでいる。犯罪を、一人の力で無く

すことはできないけれど、みんなが自分を見つめ直せば、大きな力となり、犯罪もない社会を造り出せると思うので、何事も、小さな積み重なが、明るい社会にできる、大きな一歩なので、一人一人が相手の事を考え、犯罪のない世界を目指して行きたい。明るい世界にして、困難のない、苦しみのない、一人一人がかかかく世界に。私は、毎日ニュース、楽しい事や、うれしい報告が、見れるように、犯罪のない、世界を実現できるように、

私も、がんばりたい。また、毎日朝から、楽しいニュースや、うれしいニュースを見て、一日が気持ち良く過ごせるように、犯罪のない世界を実現させて、だれもが、楽しく、自分らしく生活できるようになりたい。
みんなのために、明るい世界を。